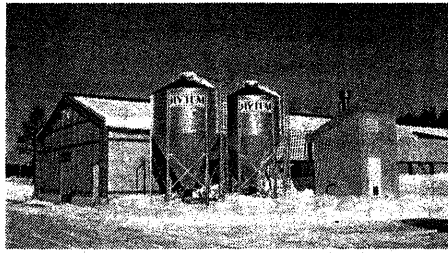


# 新トンネル換気育雛育成舎

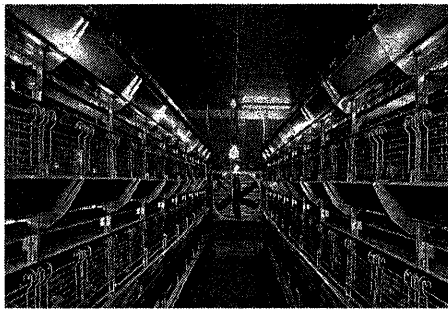
東洋システム 全国各地に納入

東洋システム(株)(安田勝彦社長)本社・岐阜県各務原市金属団地九七(四)は、約十年前からウインドレスの新しい換気システムとして新トンネル



北海道で2農場目になる十勝ハイチックの新トンネル換気育雛育成一貫鶏舎。建物は外柱方式(昨年12月完成)

ル換気に取り組んできた。一九九五年には成鶏舎向けに第一号を関東地区に納入、その後同システムはウインドレスの成鶏内の空気をトコロテン式



鶏舎内部のハイテムサルメット育雛ケージシステム

育雛育成舎への応用にも取り組まれている。新トンネル換気は、舎

に鶏舎後部裏面に排出するため、①舎内にヨドミがない②トリに新鮮な環境を与える③舎内の粉塵レベルを下げる④換気効率もよい⑤電気代も少なくて済む⑥などの特長があるが、鶏舎前後での温度差が出やすい問題があった。

特にえ付けを行なう育雛舎では、この点の改善が大切なため、東洋システムでは、オランダなどでの海外事例も研究して改善し、その第一号を二

関東地区にも納入し、今年一月時点では九農場十一棟、総計五十万羽の設備を納入した。同社では、ケージシステム、ファームコンピュータシステム、建物の外に柱を設置して鶏舎内部壁面を平滑にし、クリ

ニング性能を高めた建物成度を高め、農場のニーズの設計などを含め、今後ズにしていきたいと上予定の新トンネル換気育雛舎、育成舎の完